2003 年度 委員会活動成果報告

（2004 年 3 月 29 日作成）

委員会名	耐震設計小委員会	主 査 名：北村春幸
所属本委員会 **（所属運営委員会）**	構造委員会 （振動運営委員会）	委員長名：西川孝夫 主 査 名：篠崎祐三
設 置 期 間	2002 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 **各年度活動計画**	本小委員会は、耐震構造の設計体系（具体的には限界耐力計算、エネルギー法、時刻歴応答計算など）について比較し議論することで、構造設計者に役立つ資料を作成することを目的としている。2002 年度は建築構造設計に関する問題点の抽出を行った。2003 年度は、具体的な構造計算法について、それぞれの問題点や比較を行った。	
委員構成 **（委員名（所属））**	小委員会は応答解析 WG と同時開催としているので、全委員名を示す。 秋山 宏（日本大学）・北村春幸（東京理科大学）・高山峯夫（福岡大学）・上野敏範（間組）・大越俊男（日本設計）・大鳥靖樹（電力中央研究所）・岡田 恒（建築研究所）・壁谷澤寿海（東京大学）・川瀬 博（九州大学）・木村祥裕（東京工業大学）・倉本 洋（豊橋技術科学大学）・張 富明（防災科学研究所）・勅使川原正臣（建築研究所）・細野 透（日経 BP 社）・和田 章（東京工業大学）・佐藤玲圭（熊谷組）・石井正人（日建設計）・石原直（国交省国土技術政策総合研究所）・加藤研一（鹿島建設）・松本和行（藤木工務店）・三宅辰哉（日本システム設計）	
設置 WG **（**WG **名：目的）**	**応答解析WG** ：具体的な構造計算法の比較・検証を行うことを目的とする	
2003 **年度予算**	300,000 円	

項 目	**自己評価**
委員会活動状況 **（開催日・参加人数）**	2003 年度からは耐震設計小委員会と応答解析 WG を下記に示す 10 回開催した。 第 6 回委員会 2003. 4.18・13 名参加 第 7 回委員会 2003. 6. 4・13 名参加 第 8 回委員会 7. 4・ 8 名参加 第 9 回委員会 9. 1・ 7 名参加 第 10 回委員会 10. 9・12 名参加 第 11 回委員会 11.13・15 名参加 第 12 回委員会 12.17・10 名参加 第 13 回委員会 2004. 1.30・10 名参加 第 14 回委員会 2004. 2.24・10 名参加 第 15 回委員会 3.24・10 名参加
得られた成果	**（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無）** 本委員会の成果物のイメージとして ・耐震設計の発展 ・性能設計 ・地震動入力 ・等価線形化法に基づく耐震設計 ・エネルギー法に基づく耐震設計 ・時刻歴応答解析に基づく耐震設計 ・各手法による応答予測の比較 ・今後の課題 などの項目を考え、それぞれの内容構成について検討するとともに、構造計算法を比較するための関連資料を収集した。収集した資料を検討しながら、計算法の比較検討の方法などについて議論をすすめた。 これらの成果に基づいて、2004 年度から具体的な検討とこれまでの成果を纏める作業にはいる。2005 年度の初めにはシンポジウムを開催し、中間成果の公開と意見を求めることを計画している。
目標の達成度	**（当初の活動計画と得られた成果との関係）** 当初の計画では最初の 2 年間は現状調査と分析であり、ほぼ計画通り活動を進めてきている。2004 年度から本格的な検討に突入する準備が整った。
その他評価すべき事項	